

工房
OKE
CRAFT
オケクラフト
vol.6
を訪ねて



工房 くつろ木^ぎ (拓殖)

さ さ き ひろ ゆき
佐々木 寛 之^きさん

■オケクラフトマンを目指すきっかけは

義妹から塾生募集のことを教えてもらったことがきっかけです。手作業はもともと好きですし、置戸は地元ということもあり、応募しました。

■試行錯誤と挑戦の日々

日頃から、けがをしないようにまずは安全第一を心がけています。けがしてしてしまったら、何もできませんから。工房を開設して3年が経ちますが、まだまだこれからと思っています。

最近では、木工ろくろで作るカップやお椀などにも挑戦しています。皿と違って深さのある器を削るときは、バイト（鑿）のあて方が難しく、試行錯誤しています。モノづくりは、自分の感覚を大切に使いやすい器のカタチを作りながら考えています。

■工房に隣接する「オケクラフトSHOPくつろ木」では、佐々木さんの作品のほか、妻ひとみさんの手作りアクセサリーなどの雑貨を展示販売しています。営業は金、土、日曜日、祝日の午前10時から午後7時まで。今月21日から4日間は、開店3周年記念フェアを開催。



「新しいアイテムにも挑戦していきたい」と意欲を語る佐々木さん



シラカバの器、箸置き皿、お椀などを製作



シラカバの芯をくり抜いた乾燥中の材料がぎっしり。

佐々木寛之さんプロフィール

置戸町出身、43歳、妻と二人暮らし。札幌市で靴・鞆の修理業をしていたが、オケクラフトの作り手を目指し、平成24年、地元へUターン。28年3月、工房と店舗を開く。

ハロー！ ニューファミリー



錦川 翔太さん
(旧姓 宮本) かおりさん

毎日を笑顔で過ごせる家庭に

共通の友人の紹介で知り合った二人。友人としての付き合いから恋人同士へ発展。3年間の遠距離恋愛の末に昨年の2月にゴールインしました。北見地区消防組合消防署置戸支署で救急救命士として働く翔太さんをしっかりとサポートするかおりさん。お互いの好きなのところは「よく気が利いて、誰にでも自然に接することができる場所」（翔太さん）、「本当にやさしく、人のことを悪く言わないところ。家事も手伝ってくれます」（かおりさん）。「言いたいことを言い合えることができ、辛いことがあっても二人で笑って過ごせるような家庭にしていきたいですね」とやさしい笑顔で語ってくれました。